

修学旅行記

～ 鹿児島の旅～

11月11日(月)朝7時40分、天気は快晴。眠そうな顔をしながらぞろぞろと広島駅新幹線口2階広場に集合。少し集合時間に遅れてきた人もいましたが…。通勤や通学の人たちが横を通り過ぎていく中、出発式を行いました。

出発式を終えた後、1組から3組までがまず最初の1団として先に出発。続いて4組から6組が第2団として新幹線に乗車しました。残念ながら一度に6クラス全員が新幹線に乗ることはできませんでした。

広島駅には新幹線が数分しか停車しないということで、事前に西名先生の指導の下で、体育館で新幹線の乗車練習を行いました。その甲斐あって、当日の朝はスムーズに何事もないように新幹線乗車できました。

新幹線に乗り込むと、さっそくトランプやウノ大会の始まり。いきなり車掌さんに「この車両は修学旅行貸し切りではないので静かにしてください」と注意される。とはいうものの、和やかな雰囲気で行く新幹線の旅は続いていく。

鹿児島中央駅に到着。そこからクラスごとにバスに乗り込んで知覧に向かう。知覧ではまず「知覧パラダイス」という食事会場に移動して鹿児島名物「鶏飯(けいはん)定食」をいただく。ごはんの上にはいろいろな薬味をのせて、そこにダシのきいたスープをかける料理。なんとなくお茶漬けのような感じだ。食事が終わると1組から3組は学級写真を撮って平和会館に移動。4組から6組は食事が終わると平和会館に移動。平和会館では語り部の方から知覧の特攻隊の話聞く。話を聞いた後、実行委員長の武田君が語り部の方にお礼の挨拶をしました。その後4組から6組は学級写真を撮り、全員で平和会館の特攻隊の方が残した手紙などの展示物を見て回る。その後あまり多くないお土産屋さんへ移動してお土産を購入。いきなり山ほどお土産を買っている人もいました。レジには長蛇の列。そんなに買ってこれから3日間どうやって過ごすのでしょうか・・・。

知覧を出発し次に「いおワールドかごしま水族館」に向かう。バスガイドさんに鹿児島の案内をしていただきながらバスが進んでいると、なんと桜島が噴火…。桜島は遙か先にあるのですが、山頂からわずか横の部分から白い噴煙がまさにモクモクと雲のように空に上がっていくのが見えました。我々の修学旅行を歓迎してくれているかのように・・・。

水族館ではわざわざ祇園中学校だけのために「イルカ

ヨー」というか「どうやってイルカを訓練するかショー」を見せていただきました。イルカをジャンプさせる訓練や、人間の息とイルカの息の違いを見せていただいていたってけっこうみんな驚いていました。Hくんはおしり大丈夫だったでしょうか・・・？



水族館を出ると、もうあたりは暗くなっていました。そこから今度は城山(しるやま)展望台に向かいました。城山は西郷隆盛が西南戦争で命を落とした地でもあります。城山に上っていく途中、その洞窟の横を通り過ぎていきました。城山展望台は昼間は正面に桜島が見えてとても景色のよい場所。さすがにこの日は夜で真っ暗だったので桜島は見えませんでした。鹿児島市内の夜景が美しく輝いて見えていました。そのうちだんだんハイテンションになっていく人も大勢・・・。

城山を出発し、ようやく「レンブラントホテル鹿児島」に到着。ホテルでは食事会場(2つに分かれて)で入館式を行いました。実行委員がみんなの代表として挨拶をし、ホテルの方にも挨拶をしていただきました。食事はバイキング形式でしたが自分の好きな物を好きなだけ食べられるわけではありませんでしたが、最後の最後まで残っていつまでも食べている人もいました。Mさん・・・。食事の後は各部屋に戻って入浴。ユニットバスは上手に使えたでしょうか・・・？



夜の9時半、まわりのみんなはテレビを見たりしてくつろいでいる中、実行委員の人は実行委員会を行いました。まずは今日の反省から。今日よかったことは、新幹線にスムーズに乗れたこと、実行委員が指示するとすぐに静かになって話をきいてくれた。悪かったことは、最初は緊張していたがだんだん緊張感がなくなり落ち着かなくなってきたことやバスガイドさんの話を聞いていなかったりとか、問題点も出てきました。実行委員は明日からどうすればよいかを考え、行動していくことを約束しました。その後の室長会では、今日の反省をし、実行委員会ですたことを話しながら明日からの修学旅行をもっとよくしていこうという話をしていきました。

10時30分消灯、就寝。落ち着かない人も中にはいたようでしたが、みんな早めに眠りにつきました。(おそらく・・・)

2日目、6時30分起床。今日は各クラスごとに6つの地域に分かれ、さらに12の家庭に分かれて民泊体験をします。朝食を食べ終わると、急いでホテルを出発する準備をし、8時30分にホテルを後にしました。

(ここからは5組が行動した様子を・・・)

5組が向かうのは川内(せんだい)と呼ばれる地域。この町の中央に川内川(せんだいがわ)が流れ、川の両側の町が大きな網を引いて「綱引き」をするという伝統行事もある場所だそうです。バスが到着するとまず、お寺の中に集まりそこで「入校式」が行われました。クラスの実行委員が挨拶し、地域の代表の方にも挨拶をしていただきました。



そしてそれぞれのグループがお世話になる各ご家庭の方が紹介され、それぞれの車に乗って各家庭に向かっていきました。まずは体験活動。

12グループのうち10のグループはタマネギ畑にやってきました。この畑は砂地でした。畑から海は見えませんでした。すぐそばに海があるということでした。ラッキョウはよく砂畑で作るのは知っていましたが、タマネギを作るのを見るのは初めてでした。砂畑で育てるのでとてもあまいタマネギができるそうです。ここでの作業は「タマネギの植え付け」。初めにタマネギの植え付け方を聞いて、大勢の人数で一度に植え付けをされているようで、生徒たちはそれに混じってタマネギの苗を植え付けていました。いいタマネギができれば(例年の春には・・・)タマネギを送ってくださるそうです。どんなタマネギができるか楽しみです。

「修学旅行記」につづく